0.025w/v%ジアミトール®水

開封日　　年　　月　　日

0.025w/v%ジアミトール®水

0.025w/v%ジアミトール®水

〈調剤包装単位用コード〉
(01)04987211238728

〈販売包装単位用コード〉
(01)14987211138728

使用後、フィルムをはがしてキャップをはずした後、空容器を図のようにして折り目を外側に押しつぶして下さい。

プラ
キャップ：PP
ボトル：PP
ラベル：PS

外用殺菌消毒剤（滅菌製剤）

日本薬局方 ベンザルコニウム塩化物液

0.025w/v% ジアミトール®水

0.025w/v%

0.025 w/v% Germitol Water

1L

製造番号

使用期限

発売元
㊧ 丸石製薬株式会社
大阪市鶴見区今津中2-4-2

製造販売元
日興製薬株式会社
岐阜県羽島市江吉良町1593

2015年4月改訂（第3版）	
日本標準商品分類番号	872616
承認番号	20400AMZ01088
薬価収載	1994年７月
販売開始	1992年11月
再評価結果	1982年８月

貯　　法：室温保存
使用期限：3年（表示の使用期限を参照すること。）

【組成・性状】
1.組成
100mL 中
ベンザルコニウム塩化物　0.025g（0.025w/v%）含有。
2.性状
無色～淡黄色澄明の液で、特異なにおいがある。
本品は振ると強く泡立つ。

【効能・効果】【用法・用量】

効能・効果	用法・用量（ベンザルコニウム塩化物濃度）
手術部位（手術野）の粘膜の消毒、皮膚・粘膜の創傷部位の消毒	ベンザルコニウム塩化物0.01～0.025%溶液を用いる。
感染皮膚面の消毒	ベンザルコニウム塩化物0.01%溶液を用いる。
膣洗浄	ベンザルコニウム塩化物0.02～0.025%溶液を用いる。
結膜嚢の洗浄・消毒	ベンザルコニウム塩化物0.01～0.025%溶液を用いる。

【使用上の注意】
1.重要な基本的注意
（1）炎症又は易刺激性の部位（粘膜、陰股部等）に使用する場合には、濃度に注意して、正常の部位に使用するよりも低濃度とすることが望ましい。また、使用後は滅菌精製水で水洗すること。
（2）深い創傷又は眼に使用する希釈水溶液は、調製後滅菌処理すること。
2.副作用
本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。
過敏症：発疹、そう痒感等の過敏症状（頻度不明）があらわれることがあるので、このような場合には使用を中止すること。
3.適用上の注意
（1）**人体**
1）投与経路：**経口投与しないこと。浣腸には使用しないこと。**
2）使用時：
ア.粘膜、創傷面又は炎症部位に長期間又は広範囲に使用しないこと（全身吸収による筋脱力を起こすおそれがある）。
イ.密封包帯、ギプス包帯、パックに使用すると刺激症状があらわれることがあるので、使用しないことが望ましい。
（2）**その他**
1）調製方法：
ア.希釈液として塩類含量の多い水又は硬水を用いないこと。
イ.繊維、布（綿、ガーゼ、ウール、レーヨン等）は本剤を吸着するので、これらを溶液に浸漬して用いる場合には、有効濃度以下とならないように注意すること。
2）使用時：
ア.血清、膿汁等の有機性物質は殺菌作用を減弱させるので、これらが付着している医療器具等に用いる場合は、十分に洗い落としてから使用すること。
イ.石けん類は本剤の殺菌作用を減弱させるので、石けん分を洗い落としてから使用すること。
ウ.皮膚消毒に使用する綿球、ガーゼ等は滅菌保存し、使用時に溶液に浸すこと。

【薬効薬理】
本剤は使用濃度において、栄養型細菌（グラム陽性菌、グラム陰性菌）、真菌等には有効であるが、結核菌及び大部分のウイルスに対する殺菌効果は期待できない。

【取扱い上の注意】
1.開封時及び開封後は、微生物による汚染に注意すること。
2.本剤は滅菌製剤なので、開封後は速やかに使用すること。

0.025w/v%ギアミトール®水

開封日　　年　　月　　日

0.025w/v%ギアミトール®水

0.025w/v%ギアミトール®水

4 987211 138721

GS1-RSS (01)14987211138728

キャップ：PP
ボトル：PP
ラベル：PS

使用後、フィルムをはがしてキャップをはずした後、空容器を図のようにして折り目を外側に押しつぶして下さい。

外用殺菌消毒剤（滅菌製剤）

日本薬局方 ベンザルコニウム塩化物液

0.025w/v% ギアミトール®水

0.025w/v%

0.025 w/v% Germitol Water

1L

製造番号

使用期限

発売元
㊧ 丸石製薬株式会社
大阪市鶴見区今津中2-4-2
製造販売元　日興製薬株式会社
岐阜県羽島市江吉良町1593

2008年7月改訂（第2版）	
日本標準商品分類番号	872616
承認番号	20400AMZ01088
薬価収載	1994年７月
販売開始	1992年11月
再評価結果	1982年８月

貯　　法：室温保存
使用期限：3年（表示の使用期限を参照すること。）

【組成・性状】

1.組成

100mL 中
ベンザルコニウム塩化物　0.025g（0.025w/v%）含有。

2.性状

無色～淡黄色澄明の液で、特異なにおいがある。

【効能・効果】【用法・用量】

効能・効果	用法・用量（ベンザルコニウム塩化物濃度）
手術部位（手術野）の粘膜の消毒、皮膚・粘膜の創傷部位の消毒	ベンザルコニウム塩化物0.01～0.025%溶液を用いる。
感染皮膚面の消毒	ベンザルコニウム塩化物0.01%溶液を用いる。
膣洗浄	ベンザルコニウム塩化物0.02～0.025%溶液を用いる。
結膜嚢の洗浄・消毒	ベンザルコニウム塩化物0.01～0.025%溶液を用いる。

【使用上の注意】

1.重要な基本的注意

（1）炎症または易刺激性の部位（粘膜、陰股部等）に使用する場合には、**濃度に注意**して、正常の部位に使用するよりも低濃度とすることが望ましい。また、使用後は滅菌精製水で水洗すること。

（2）深い創傷または眼に使用する希釈水溶液は、調製後滅菌処理すること。

2.副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

過敏症：発疹、そう痒感等の過敏症状（頻度不明）があらわれることがあるので、このような場合には使用を中止すること。

3.適用上の注意

（1）人体

1）投与経路:**経口投与しないこと。洗腸には使用しないこと。**

2）使用時:

ア.粘膜、創傷面または炎症部位に長期間または広範囲に使用しないこと（全身吸収による筋脱力を起こすおそれがある）。

イ.密封包帯、ギプス包帯、パックに使用すると刺激症状があらわれることがあるので、使用しないことが望ましい。

（2）**その他**

1）調製方法:

ア.希釈液として塩類含量の多い水または硬水を用いないこと。

イ.繊維、布（綿、ガーゼ、ウール、レーヨン等）は本剤を吸着するので、これらを溶液に浸漬して用いる場合には、有効濃度以下とならないように注意すること。

2）使用時:

ア.血清、膿汁等の有機性物質は殺菌作用を減弱させるので、これらが付着している医療器具等に用いる場合は、十分に洗い落としてから使用すること。

イ.石けん類は本剤の殺菌作用を減弱させるので、石けん分を洗い落としてから使用すること。

ウ.皮膚消毒に使用する綿球、ガーゼ等は滅菌保存し、使用時に溶液に浸すこと。

【薬効薬理】

本剤は使用濃度において、栄養型細菌（グラム陽性菌、グラム陰性菌）、真菌等には有効であるが、結核菌及び大部分のウイルスに対する殺菌効果は期待できない。

【取扱い上の注意】

1.開封時及び開封後は、微生物による汚染に注意すること。
2.本剤は滅菌製剤なので、開封後は速やかに使用すること。